

発行所

社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内4F)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第156号

平成21年6月30日発行

発行人 佐野良雄

編集人 広報委員会

(委員長 熊田弘信)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

平成21年度通常総会を開催

次世代を担う人材育成の強化



佐野会長

社団法人埼玉県電業協会(佐野良雄会長)は5月25日、さいたま新都心のホテルプリランテ武蔵野に、永田喜雄・県土整備部長、池田秀生・同建設管理課長を来賓に迎え、平成21年度通常総会を開催しました。

催しました。

総会に先立ち佐野会長はあいさつで、「今年度も安心・安全を県民にご提供出来るよう災害協定締結に基づいた活動や、ロードサポート等を通じ地域社会への貢献を積極的に実施していきます。また、後継者問題には「人材育成委員会」を発足させ、次世代を担う人材育成を他業界に先駆けて真剣に取り組み、電気工事業界のイメージアップにつなげていきたいと思えます。さらに、地球温暖化対策に有効な太陽光発電設備、省エネ機器の導入、資材のリサイクルについても業界として取り組んでいきます」と述べ、方向性・価値観が大きく変わって来ている現状に対応できる協会の今後の指針を語りました。



永田県土整備部長

来賓の永田県土整備部長は、協会各支部で実施しているロードサポート道路清掃ボランティア活動に改めて感謝の意を伝え、「9月までに80%を発注し、経済効果が発揮できるよう全力で務めます」と述べるとともに上田知事からのお

祝いの言葉を代読し、事業推進にさらなる協力を要請するあいさつをしました。

総会議事は議長に岡村副会長を議長に選出、第1号議案の平成20年度事業報告の承認から、第4号議案の平成21年度収入・支出予算(案)の承認について、を慎重審議し、上程した全ての議案を可決・承認し、閉会しました。

総会終了後、通常会員・賛助会員を対象とした懇親会を開催し、多数の方々にご参加いただき、会員間の交流を深めました。懇親会では、熊田弘信広報委員長より当協会ホームページのリニューアルについて発表がありました。協会認知度の向上や会員の利便性などを検討して作成いたしましたので、よろしく願ひ致します。当協会URL：<http://www.saidenkyo.jp/>



平成21年度通常総会



懇親会でHPリニューアルお披露目
(左下・熊田広報委員長)

「彩の耀」に寄せて



川越市章

川越市の紋章(市章)は、明治45年5月11日に制定されました。この紋章は、中央に川越の「川」を、周囲にカタカナの「コ」と「エ」を配置して「川越」を象徴しています。

時の人

川越市長

川合 善明

社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日ごろから電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

本市は、都心から30km圏内に位置し、古くから埼玉県南西部地域における産業、経済、文化、観光などの中核都市として発展してきた人口約33万8,000人の都市です。

大正11年に埼玉県内で初めて市制を施行し、昭和30年には、周辺の9か村を合併し、現在の川越市となりました。また、平成15年4月には、地方分権の先導役として政令指定都市に次ぐ権限を持つ「中核市」に移行し、地域にふさわしいきめの細かい行政サービスを提供しています。

まちを支える産業は、川越駅・本川越駅・川越市駅の3駅を中心に栄える商業、首都圏の食料供給地の役割を担う農業、そして市内北部・南西部に展開する工業団地等により県内上位の出荷額を誇る工業がバランスよく発展しています。

また、川越の特色である観光も、蔵造りの町並みや川越まつりなど魅力ある歴史的・文化的遺産が数多く残っています。

ご承知のとおり、今年の3月から、本市を舞台としたNHKの連続テレビ小説「つばき」が放送されております。9月26日まで、毎日川越の風景が全国のお茶の間に放映されておりますが、これを機に川越ならではの魅力や素晴らしさを、さらに全国にPRしていきたいと考えております。

さて、私は、「改革・公正・公平」の3つの基本姿勢を掲げ、市民の皆さまの信任を賜り、今年2月から川越市政を担当させていただくことになりましたが、この3つの基本姿勢を貫くために、5つのかわごえづくりを着実に推進してまいります。

- ・中心市街地における交通渋滞の解消などを進める「まちづくり」
- ・すべての小・中学校の耐震化や乳幼児健診の充実などを進める「ひとづくり」
- ・地元商店街支援のための後継者対策や商業活性化事業の推進などを図る「くらしづくり」
- ・市民の皆さまと市との協働の更なる推進を図る「しくみづくり」
- ・保健・医療機関と連携した高齢者支援対策などを実施する「げんきづくり」

これら5つのかわごえづくりを通じ、きめの細かい行政サービスを提供し、市民一人ひとりが川越に住むことに誇りを持ち、終のすみかとして川越を選んで良かったと思えるまちに、また、川越を品格のある、明るく住みよいまちにしたいと考えております。

このため、さまざまな課題に対しては、正面から向き合い、勇気を持って決断してまいりますので、今後とも市政に対しまして、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

三県連絡会議

公益法人改革 三県で ワーキンググループを

当協会は5月14日、神奈川千葉県電業協会ならびに埼玉県電業協会と三県連絡会議をオークラ千葉ホテルで開催しました。春季会議である今回の会議の議題は「これからの協会の在り方について」。

今回の春季会議には、神奈川千葉県電業協会から内藤幸一会長ほか副会長、常務理事ら4人。開催県の千葉県電業協会からは並木鷹男会長ほか副会長2人、常任理事、理事、事務局長など総勢10人が出席。本県協会からは佐野会長、荻野副会長、島村副会長、岡村副会長、荒川事務局次長の5人が出席し、活発な意見交換が行われました。

本県協会の提案として、「三県連絡会議からの発信」と「クレダス（建設リサイクルデータ統合システム）について」（資料提供）の2テーマが出されました。

「公益法人改革」については、開催県の千葉県協会が提案しました。同協会は「業界の新しい価値観を作り上げるための先導的役割を果たすべく、三県電業協会が共通の価値観を作成し、

全国に発信していく必要がある」とし、「三県でワーキンググループを組織し、平成22年3月末を目途に集約してもらいたい」としました。本県協会はこの提案について「当県では人材育成委員会を設立し、「人づくり」「魅力ある協会づくり」などの検討をしている。ワーキンググループでの意見を参考としていきたい」と発言しました。各県から若手理事3人程度を選び、ワーキンググループを組織し、電業協会の未来像などについて検討し、来年3月末までにまとめ三県連絡会議に提案することになりました。

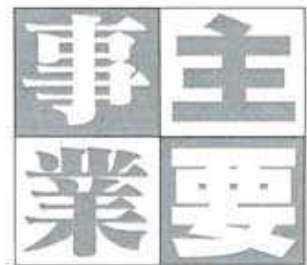


千葉県で開催された三県連絡会議

新入社員研修会

基本をきっちりと習得

3日間で安全衛生やマナー



研修を終えて記念撮影

平成21年度新入社員研修会を建産連研修センター会議室で開催しました。同研修会は4月2日、3日、6日の3日間にわたって実施されるもので、初日には佐野良雄会長が参加した24人の新入社員に対し「学生から社会人への一步を踏み出した皆さんにお伝えしたいことは、今日のこの日を大事にしてほしいということです。今日することは今日しかできないものです。また、職場で分からないことがあった

ら曖昧にしないで理解するまで聞いて次のステップに進んでください。3日間の研修会では職場でのマナーや社会人としての意識向上、安全衛生教育など重要なカリキュラムが盛り込まれています。今後の社会人としての生活に役立ててください」と祝辞を贈りました。

このあと、「早期戦力化のためのビジネスベーシック」と題し、雇用・能力開発機構埼玉センター委託講師の井島鈴子氏が講義を行いました。井島氏は「何事も基本をきっちりと習得し、頭にインプットすることが大事。創造的な仕事はしっかりした基本訓練の中から生まれてくる」としました。また、あいさつや自己紹介などビジネスマナーの実際についても解説しました。

2日目、3日目では、現場に配属する前の座学を中心とした「雇入れ時安全衛生教育」で、業務に関する安全または衛生のために必要な事項についての教育を行いました。

検定試験準備講習会

資格取得で大きな目的が

4月15日から5月27日までの5日間にわたって平成21年度1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会（学科コース）を建産連研修センターで行いました。内山武司技術研究委員長が「最近の建設工事の施工技術の高度化に伴い、1級電気工事施工管理技士の現場での重要さは一層高まっている。当協会も1人でも多くの方に管理技士の資格を取っていただきたい。資格を持つことにより毎日の生活に大きな目的が生まれてくる。昨年の検定試験では、当講習受講者の合格率が全国平均より上回った。今年も講習会の模擬試験でポイントをつかみ、全員が合格していただきたい」と受講者を激励しました。

このあと、講師のケイ教育企画サポート事務所所長の小泉一夫氏が5日間のガイダンスを行いました。小泉氏は「団塊の世

代の職場からの一斉退場で1級電気工事施工管理技士の人数が大幅に減少し、非常にひっ迫した状況になっている。電気工事をする場合、一定金額以上の工事には必ず施工管理技士を常駐させなければならず、その資格と地位は重要視されている」と施工管理技士をめぐる現在の状況を解説しました。

講習内容は、弱点克服と実践力を養うために多くの問題に触れていただき、模擬試験形式と個人指導をくり返し行いました。



講習会の試験風景

人材育成委員会 [活動報告①]

委員：北見 史生 (旭電気工業株)

委員会が発足して半年が経過しました。私達の活動について時間を追って説明します。

1月 委員会活動を開始するにあたり、方向性を確認しました。

- ・電気工事の技術者(技能者)を採用、育成してゆく。/将来的に中途採用も視野に入れ、検討する。
 - ・会社に入って長く活躍(勤務)していただきたい。終身雇用(長期の安定雇用)を前提とする。
- 中長期的な視点で、今できることから始める。私達は「新卒・技術者」に絞り、委員会活動の一步を踏み出しました。

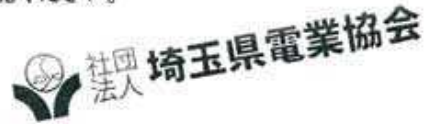
2月 委員会内で人材育成について様々なアイデアを出し合い、検討しました。

協会HPリニューアルの提案もその一つです。新しいHP (www.saidenkyo.jp) をご覧ください。

3月 「新卒者採用に関するアンケート調査」を行いました。

- ① 平成21年4月入社の採用実績、平成22年度の採用予定人数で現在の求人状況
 - ② 平成20年4月入社の定着率(離職の状況)でミスマッチの状況
 - ③ 企業として求める人材・人柄、学校側にも求めるものとして企業側の意見
- 昨年夏に起きた世界同時不況により、雇用環境は悪化の一途を辿っていると言われていました。

はたして私達(社)埼玉県電業協会/会員企業はどのような採用状況なのか現状を把握する必要があります。



新卒者採用に関するアンケート結果 (抜粋)				全通常会員71社対象に配付、65社回収 (回収率92.0%) [H21.4.3現在]																			
○平成21年4月入社の採用実績について				○平成22年の採用予定人数について																			
[採用計画]	技術系 63人	事務系 8人	[採用計画]		ある 28社	なし 11社	未定 26社																
[採用実績]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>技術系</th> <th>事務系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学卒 (院卒含む)</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>短大・高専卒</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専門学校卒</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高校卒</td> <td>26</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		区分	技術系	事務系	大学卒 (院卒含む)	6	1	短大・高専卒	1	1	専門学校卒	10	1	高校卒	26	6	[ある] 場合		技術系 76人	事務系 14人		
区分	技術系	事務系																					
大学卒 (院卒含む)	6	1																					
短大・高専卒	1	1																					
専門学校卒	10	1																					
高校卒	26	6																					
□ 募集なし	45社		[採用予定内訳]		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>技術系</th> <th>事務系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学卒 (院卒含む)</td> <td>17</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>短大・高専卒</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>専門学校卒</td> <td>21</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高校卒</td> <td>21</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		区分	技術系	事務系	大学卒 (院卒含む)	17	3	短大・高専卒	6	3	専門学校卒	21	1	高校卒	21	6		
区分	技術系	事務系																					
大学卒 (院卒含む)	17	3																					
短大・高専卒	6	3																					
専門学校卒	21	1																					
高校卒	21	6																					
○平成20年4月採用者の定着率について				○求める人材について																			
[採用実績]	ある 18社		[採用実績]		ある 18社		[採用実績]																
[ある] 場合	採用者の在職数	採用時数	技術系 56人	事務系 17人	[ある] 場合		[ある] 場合																
	↓	↓	↓	↓	[ある] 場合		[ある] 場合																
	現在在職数 (定着率)		47人(84%)	13人(76%)	[ある] 場合		[ある] 場合																
				○求める人材について (必要としている人材・職種について)																			
				現場代理人/電工/職長/営業・総務・積算担当																			

5月 GWを挟み、業界PRを兼ねて埼玉県内の電気に関する学部/学科を有する技術系学校 (*訪問先一覧*参照)を訪問しました。訪問にあたり、上記のアンケート結果と協会案内等を各学校に提供させていただきました。アンケート結果については最新のデータという事もあり、先生方には興味を持っていただき、会員企業の雇用に対する姿勢に対し評価を高めていただけたと思います。電気工事を就職先の選択肢の一つとして紹介していただきたいと考えています。今回の訪問で先生方から貴重な意見を多数いただくことができました。これをヒントに委員会活動を活性化させてゆきます。

なお、昨年(社)日本電設工業協会が作成したリクルート用DVD「明日への挑戦」と「第57回2009電設工業展」が東京会場ということもあり、ポスターと招待状を配付させていただきました。



※「明日への挑戦」は当協会HPでご覧になれます。

* 訪問先一覧 *

浦和工業高等学校	中央高等技術専門学校
大宮工業高等学校	川口高等技術専門学校
春日部工業高等学校	川越高等技術専門学校
川口工業高等学校	熊谷高等技術専門学校
川越工業高等学校	熊谷高等技術専門学校(秩父分校)
久喜工業高等学校	春日部高等技術専門学校
熊谷工業高等学校	芝浦工業大学 システム工学部
熊谷商業高等学校	埼玉大学
狭山工業高等学校	東洋大学 工学部
玉川工業高等学校	日本工業大学
秩父農工科学高等学校	東京電機大学 理工学部
三郷工業技術高等学校	

学校訪問にあたって

GW前後に業界PRを兼ねて、今回初めて学校訪問をさせていただきました。担当及びサポートとして、4校訪問させていただきましたが、学校の先生・就職担当の方との話の中で、あらためて気が付いた事を列記させていただきます。

- ・電気科に入ってくる生徒数は年々減少傾向にあるが、就職時には人気があり、求人も多し、就職率も高い
- ・全体的に就職が厳しくなっているため、電気工事の業種にも限を向けられることが多くなっていくように思う
- ・この景気で、大企業が採用人数を減らしているため、大卒や良い人材を探るには非常に良い時期である

- ・学校の就職担当の先生によって、非常に就職に対しての温度差がある
- ・生徒は、「自分達の将来像の描ける会社」であれば、業種はともあれ、安心して就職するのではないかと、そのためにも、業界で将来像が描けるようなPRが必要

仕事で学校の先生と話すことはあっても、就職について意見を伺うことがほとんど無かったので、今回の学校訪問は、大変勉強になりました

委員：町田浩征/国益電設工事(株)

人材育成委員会 (11名) あいうえお順、敬称略

市之瀬正靖/市之瀬電設、井上則文/三共電気商会、内山祥章/内山電設、大塚徹/大塚電設、岡島光孝/岡島電気商会、川合昭/埼玉電設、北見史生/旭電気工業、積田優/積田電業社、橋本幹男/橋本電工、町田浩征/国益電設工事、吉村光司/八洲電業社

災害地復旧体験と BCPについて

(株)高岡電気工業 代表取締役 高岡 武

Voice

会員の皆様には日頃よりお世話になりましてありがとうございます。

さて、柏崎刈場原子力発電所の七号機が1年10ヵ月ぶりに再稼働すると報じられておりました。弊社の被災地復旧工事の体験談を述べたいと思います。一番の記憶は兵庫県南部地震（後に阪神・淡路大震災と改名されました）です。平成7年1月17日に発生し、大変数多くの尊い命が奪われました。契約書を見ると、第一次災害応急住宅の工事は、1月26日宝塚市内より着工し、被害の大きかった長田町や淡路島ほか、第八次神戸西区の完成引渡しは、7月18日と日付がされ、被災された現地の人達が被災復旧再稼働されるまでの期間6ヶ月半出向しておりました。特に第一次災害応急住宅の件は、大地震発生してから数日後、国の方針が決定され、日程、場所、規模、内容の説明と工事着手の依頼でした。急遽電気設備の設計図を作成し、現場にて高効率稼働となるよう部材のユニット化と共に、冬山に登山しても自立生活出来る体勢づくりを含め、資材・生活用品を大学ノート一冊では記入しきれなかった事を覚えています。第一次隊出発の数日後の未明に私も現地に入りましたが、六甲からの風花が舞う中、陽が登ると周りの家々はブルーシートが掛けられ、少し車を走らすと住宅やコンクリートの建物が潰れ震災の大きさを物語る

ものでした。1月31日被災地第1号の竣工引渡し検査を行い、翌日には、テント生活していた住民の人達が入居されました。

次に平成16年に発生した新潟県中越地震は、山古志村の震災が数多く放映されましたが、松伏町との交流があり、町民フェスティバルに多くの山古志村の人達が参加され、帰村して1週間後の出来事でした。長岡市はじめ数ヵ所の仮設住宅や集会場の工事。山古志村の住民の人達が偶然にも弊社担当住宅に入居されました。竣工後は雪国特有の課題を、数多くを学ばせて頂きました。平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震においても数ヵ所担当しました。私達の住む地域に「もし災害が発生したら」被害を最小限に、速やかに、どう復旧出来るのか！社内と家庭で取り組んで行く為のRTO（目標復旧時間）やRTC（現状復旧可能時間）を検討する必要性を感じました。弊社は、東埼玉テクノポリスと言う工業団地、協同組合の一員ですが、昨年からBCP（事業継続計画）の研修をスタートしました。新潟地震の発生により国内の自動車メーカーが一時的生産中止に追い込まれる状況となり、話題とされたピストンリングメーカーのリケン新潟工場の例もあり、現在発生しているインフルエンザBCPも含め企業防衛がより一層必要とされる時代に入ったと思います。

北部支部活動の近況

協会だより
北部支部

北部支部長 熊谷電機(株) 代表取締役 小林 弥寿弘

支部活動も営業・研修活動同様ボランティアなどにも積極的に参加協力を行っています。そのひとつが彩の国ロードサポートです。今は各支部をはじめとして色々な団体などが参加していますが、当支部では、熊谷県土整備事務所・本庄県土整備事務所・東松山県土整備事務所の3地区の管内で行っています。各箇所、年4回で、平均すると毎月何処かでやっている計算となります。

熊谷県土整備事務所認定を受け、始めたのが平成15年12月2日で、すでに通算23回となります。その後、平成17年2月25日に東松山県土整備事務所の認定を受け、平成19年9月19日には本庄県土整備事務所管内での清掃活動も始めました。また、本庄地区においては本庄駅前通り他場所を、各種他団体との合同の清掃行事にも参加します。

北部支部会員16社にて割り振り、協力してやっています。夏の暑い時や、冬の風の強い時、年度末などの忙しい時、それぞれに都合をつけて参加しています。作業後の反省会では昼食をとりながら、「今日は缶が少なかった。」「歩道と舗装の間の草がいっぱい大変だった。」とか、当日の話題はもちろん、仕事上の意見交換の場としても会員相互のコミュ

ニケーションを交わす場となっています。

また、協会の支部として、埼玉県との防災協定に基づき、非常時に協力体制が取れる連絡網が構築されており、時には災害実働マニュアルの緊急連絡シミュレーションによって電話連絡網の確認なども行っています。

協会団体などの存在意義が問われる昨今の状況下で、公共工事に携わる者として社会活動に積極的に参加するのも意義の有る事として支部活動をすすめて行きたいと思えます。

追伸

近頃では、作業中に通りの奥さんなどに「ご苦労様。」と声をかけられる事もあり、嬉しくなることが増えました。健康管理を兼ねて元気に気持ちのいい汗をかくのもたまにはいいものですよ。



協会のうごき

4月

- 2日 新入社員研修1/3
〔ビジネスベーシック〕
- 3日 新年度県庁挨拶回り
新入社員研修2/3
〔雇入れ時安全衛生教育〕
- 6日 新入社員研修3/3
〔雇入れ時安全衛生教育〕
- 8日 広報委員会・人材育成委員会
- 15日 第1回理事会
1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会学科コース1/5

- 22日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会学科コース2/5

- 27日 決算監査

5月

- 11日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会学科コース3/5
- 12日 第2回理事会
- 14日 三県連絡会議〔春季〕(千葉県担当)
- 20日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会学科コース4/5
- 25日 第3回理事会
通常総会

- 27日 1級電気工事施工管理技術者検定試験
準備講習会学科コース5/5

6月

- 9日 県等挨拶回り
第4回理事会
- 17日 人材育成委員会

7月

- 8日 第1回技術講習会
- 14日 第5回理事会
- 16日 事故防止対策委員会
安全大会

(社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (16社)

- 旭電気工業㈱(大宮区)
- 浦和電気工事㈱(南区)
- 大塚電設㈱(浦和区)
- ◎株岡村電機(緑区)
- 国益電設工事㈱(南区)
- 埼玉電設㈱(中央区)

〔さいたま市〕

- 三洋電設㈱(南区)
- 新生電気工事㈱(見沼区)
- 竹内電気㈱(岩槻区)
- 株積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業㈱(見沼区)
- 浜野電設㈱(北区)
- 株万代電気工業(桜区)
- 瑞徳電設㈱(北区)
- ムサシ電機工業㈱(桜区)
- 株八洲電業社(北区)

東部支部 (10社)

- 株内田電気商会(久喜市)
- 株大久保電気(越谷市)
- 島村電業㈱(上尾市)
- 株新電気(三郷市)
- ◎株大広電気(八潮市)
- 大洋電設工業㈱(越谷市)
- 株高岡電気工業(松伏町)
- 野口電気工事㈱(越谷市)
- 武蔵野電設㈱(蓮田市)
- 株弓木電設社(白岡町)

西部支部 (16社)

- 株新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事㈱(川越市)
- 株市之瀬電設(志木市)
- ◎株岡島電気商会(川越市)
- 株おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事㈱(狭山市)
- 株三共電気商会(和光市)
- 株関根電気商会(川越市)
- 相馬電業㈱(和光市)
- 株電成社(川越市)
- 橋電機(所沢市)
- 株橋本電工(所沢市)
- 浜田電機㈱(坂戸市)
- フジヤ電気工事㈱(川越市)
- 株松本電機(和光市)
- 株ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

- 高山電設工業㈱(川口市)
- 株田部井電気(鳩ヶ谷市)
- 釣谷電機㈱(川口市)
- 那須電機工業㈱(川口市)
- 領家電設㈱(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノス㈱(熊谷市)
- 株エコー(深谷市)
- 関根電気工事㈱(本庄市)
- 小沢電気工事㈱(行田市)
- 共和電機㈱(秩父市)
- ◎熊谷電機㈱(熊谷市)
- 株栗原電機(深谷市)
- 霜田電気㈱(皆野市)
- 中外電気工業㈱(深谷市)
- 株東電工業社(熊谷市)
- 株長井電機(熊谷市)
- 株沼尻電気工事(深谷市)
- 株早川電工(行田市)
- 松山電設㈱(東松山市)
- ムサシ電機工業㈱(行田市)
- 株躍進電気(深谷市)

南部支部 (11社)

- 内山電設㈱(川口市)
- 株奥富電気工事(川口市)
- 川島電気㈱(川口市)
- 株佐久間電設(川口市)
- 佐野電機㈱(川口市)
- ◎三位電気㈱(川口市)



雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

〈雇用開発業務〉

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

〈能力開発業務〉

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164〔建設労働・財形担当〕

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8